Design Innovation Consortium

DESIGN SCHOOL
KYOTO UNIVERSITY

Professional Design Camp+ 010

2023 7/27 Thu PM &
8/3 Thu ～ 8/4 Fri

“しあわせな”
カーボンニュートラル

～ 生活者の行動変容から
導く、無理しない・
やってみたくなる
脱炭素なくらしとは？～

今回は
フィールドワークも
実施！

Professional Design Camp

プロフェッショナルデザインキャンプは、参加者同士の共創を通じて、未来に求められる新たな価値を生み出し、そのプロセスを学び合う場です。

さまざまな企業・大学から集う参加者でチームを組み、共通のテーマのもと、フィールドワークも含めた２.5日間で新たな価値の創出を試みます。

また、未来に向けた価値創出のプロセスを学ぶだけでなく、異業種の企業間でのコラボレーションのファーストステップの場としていただくことを目指します。

テーマ

“しあわせな”カーボンニュートラル　～生活者の行動変容から導く、無理しない・やってみたくなる脱炭素なくらしとは？～

温室効果ガスの「排出量」をゼロにすること。言わずもがな、世界の最重要課題のひとつです。
カーボンニュートラルに取り組むことは、「コスト削減」「企業イメージ向上」「ESG投資機会の獲得」など、企業側にとってもメリットは大きいと思います。ただ一方で、それが生活者の負担になっては、なかなか実現に近づいていかないと思います。脱炭素を、「環境問題・社会貢献のために何かを我慢する取り組み」ではなく、「便利で楽しいからどんどんやってみたくなる取り組み」に変えていく。そのためには、生活者の感情を刺激するアイデアが必要です。

今回のプロフェッショナルデザインキャンプのキーワードは
「カーボンニュートラル」×「生活者の“しあわせな”未来の暮らし」。

専門家から、カーボンニュートラルに関する様々な議論、取り組みの現状や課題を聞き、ワークショップを通して参加者が協力し、知見を結集しあいながら、カーボンニュートラルを実現する幸せな未来生活をデザインします。自社と生活者の接点を改めて見つめなおし、無理しない、無自覚でも入っていける脱炭素な生活を考える。それはきっと、将来のビジネスチャンスにつながります。

講　師

「カーボンニュートラル実現に向けたサーキュラーエコノミーの役割と可能性」

浅利 美鈴／Misuzu Asari
京都大学 大学院地球環境学堂 准教授

2000年、京都大学工学部地球工学科卒業。2004年、工学博士。現在は京都大学地球環境学堂准教授。研究テーマは「ごみ」「環境・SDGs教育」。京都議定書達成に向けた「びっくり！エコ100選」、京都におけるSDGs実装を目指す「エコ～るど京大」や「京都里山SDGsラボ（ことす）」などを展開。廃棄物資源循環学会や大学等環境安全協議会の理事、2022年11月に第15回を開催する「3R・低炭素社会検定」の事務局長も務める。

「生活者との共創を軸にした脱炭素マーケティング
―守りの脱炭素から「攻め」の脱炭素へ―」

関根 澄人／Sumihito Sekine
Earth hacks プロジェクトオーナー

2009年、東京工業大学大学院生命理工学研究科修了。細胞学を研究しながら、生物多様性や地球温暖化など環境問題を伝えていくことを仕事にしたいと思い、博報堂に入社。入社後は営業として様々な企業のブランディングなどを担当し、2020年4月から2023年3月まで三井物産に出向。2022年に生活者一人ひとりのアクションで脱炭素社会を推進する共創型プラットフォーム「Earth hacks」を設立。

ファシリテーター

メインファシリテーター
井川勇／Isamu Igawa
株式会社博報堂 シニア ビジネスプランニングディレクター

カリキュラム

※内容は状況により変更する場合がございますのでご了承ください。

PRE // 7/27（木） 14:30〜17:30	DAY1 // 8/3（木） 9:30〜17:30	DAY2 // 8/4（金） 9:30〜17:30
プレミーティング （オープニング）	京都フィールドワーク ＆課題の抽出	未来生活のデザイン ＆プレゼンテーション

主な流れとキーワード

1　プレミーティング（オープニング）
- チェックイン/ガイダンス
- インプット①京都大学 大学院地球環境学堂　浅利 美鈴 准教授
- 自己紹介（チーム内）
- 宿題の説明

2　暮らしを知る
- 京都フィールドワーク〜町家から学ぶ暮らしのヒント〜
- 宿題の共有〜一人一人の暮らしの共有〜

3　課題を見つける
- 脱炭素化に向けた暮らしの中の機会と問題点の洗い出し
- 脱炭素化に向けた課題の抽出

4　未来生活のヒント
- インプット②Earth hacks　関根 澄人
- 生活者を動かすヒントを得る

5　未来生活のデザイン
- 脱炭素の実現に向けた幸せな未来生活をデザイン
  ※グラフィックレコーディングを活用
- プレゼンテーション＆講評

6　クロージング
- まとめ
- チェックアウト

プロフェッショナル・デザインキャンプ+009

＼ 前回の様子・参加者の声 ／

2022年度は、7月19日・25日〜26日の2.5日間で
「デジタル技術の進化がもたらすコミュニケー ションの変容をどう生きる？」
〜 仮想と現実の間に広がるビジネスの可能性 〜
というテーマで実施しました。

voice
レゴや雑誌のコラージュなど、普段使わない脳を刺激する取り組みがあって引き出しが広がりました。

voice
普段の業務では接する機会がない業界や職種の方と触れ合え、異なる視点の異なる意見を得る事ができた。

開催要項

日　程	2023年7月27日(木)PM、8月3日(木) ～ 4日(金)
会　場	7月27日PM オンライン（Zoom） ※受講予定の環境でZoomが使用可能なことをご確認のうえ、お申込みください。 8月3日～4日 京都リサーチパーク（東地区1号館　G会議室） 〒600-8813　京都市下京区中堂寺南町134 https://www.krp.co.jp/access/
想定する参加者	一定の業務経験を有する若手（入社5～15年）以上の方で、以下の何れかに該当する方 ・イノベーションに意欲がある ・異業種とのコラボレーションに関心がある ※社内への波及効果を高めるため、各社2名以上でのご参加をおすすめいたします。
参加のメリット	・デザインイノベーションの方法論を学ぶ ・異業種とのコラボレーション力の獲得と人的ネットワーク構築 ・各種デザイン手法の習得 ・新たなビジネスアイデア獲得
定　員	30名程度
参加費	S会員　無料 A･E会員　140,000円 B会員　170,000円 非会員　200,000円 学生(※)(若干名)　無料　※京都大学デザイン学大学院連携プログラム 参画専攻に所属の学生 ・お支払い方法は請求書払いとなります。開催後に請求書をお送りいたします。
申込方法	京都大学デザインイノベーションコンソーシアムのWebよりお申込みください https://designinnovation.jp/topics/2023/05/professional-design-camp-010.html
申込〆切	2023年7月7日（金）
キャンセル規程	・お申込み後のキャンセルはご遠慮願います。 ・参加者のご都合によりお申込み後にキャンセルされる場合は、以下のキャンセル料を申し受けます。 開催日の7日前から前々日：参加費の30% 開催日の前日から当日　：参加費の100%
主　催	京都大学デザインイノベーションコンソーシアム
後　援	京都大学デザイン学リーディング大学院
問合せ先	京都大学デザインイノベーションコンソーシアム事務局 公益財団法人京都高度技術研究所 内　担当：野木 Tel： 075-323-7073　／　E-mail：info@designinnovation.jp

【留意事項】
- Day1の終了後に簡単な懇親会を予定しています。詳細は、後日改めてご案内いたします。
- プロフェッショナル・デザインキャンプ（以下「キャンプ」という。）で生じたアイデアについては、共創の場としての性格上、既に産業財産権が出願されているものを除き、公知のものとし、その活用は自由とします。キャンプで新規に生じた著作権については、著作者に帰属しますが、京都大学デザインイノベーションコンソーシアム（以下「コンソーシアム」という。）が作成する資料への使用並びに参加者及び参加者所属組織への再使用を許諾するものとします。
- キャンプ実施のために必要となる既存の知財・研究成果・データは、参加者に予めその帰属を明示するものとします。ただし、当該知財・研究成果・データに関するNDA を参加者に求めることはしないものとします。
- キャンプの結果は、主催・後援団体の発表会・Web・ニューズレター・各種展示を通じて公開します。
- キャンプには、全日程を通してのご参加をお願いいたします。
- キャンプの様子は、写真・ビデオ撮影を行わせていただきます。また、撮影した写真・動画は、コンソーシアム及び京都大学デザインスクールの広報手段、講演資料、マスメディア提供資料、書籍などに用いる場合があります。個人が特定されないよう加工することをご希望の方は、キャンプ期間中に実行委員会に連絡をお願い致します。各グループの成果の概要は、Webやパンフレット等の各種広報物にて公開させていただきます。